



阿部 総 いち あべとつー県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

阿部県議、議会の良識を問う ～不正経理問題で～

「議会も責任の一端取るべし」

2月県議会一般質問から

稲毛区特集

総額36億円を超える不正経理処理で揺れる県議会で、不正経理問題特別委員会の委員も務める稲毛区選出の阿部総一(あべ・こういち)県議は、不正経理の原因究明と再発防止策について、県執行部の姿勢を厳しくただしてきました。阿部県議は、2月定例会で再び一般質問に登壇し、森田知事ら執行側の責任を追及するとともに、合わせて二元代表制の一翼を担う県議会としても、執行部の監視・チェックをする使命があることから、本会議場で不正経理問題に関して、県議会としての責任も明らかにするよう堂々の主張を展開しました。阿部県議の「議会責任論」は新聞報道でも大きく取り上げられ、議会の良識を問う発言として議会内外でも波紋を呼んでいます。阿部議員の不正経理問題に関わる質疑を1、2面で特集しました。



知事

「県民に心からお詫び」

不正経理問題で知事と議会の責任をたず阿部県議

阿部議員 2月19日の2月定例県議会の開会日に、監査委員から平成21年度において、46機関で約358万円の不正経理があったとの監査報告がなされました。このように、平成21年度になっても、不正経理が行われていたということは、その原因に根深いものがあるのではないか。森田知事の就任以降も不正経理が行われていたことに関して、知事自身の責任について、どのような対応をとられるのか。

森田知事 今議会に配布された監査報告の指摘において、私の知事就任後も適正な経理処理が徹底されていなかったことに、知事として県民の皆様並びに県議会の皆様に対し、心からお詫び申し上げます。

阿部議員 これからもしっかりと、膿を出すような形で、不適正経理処理が二度と起こらないよう、取り組んでいただきたい。

小宮総務部長 私は、知事から指示を受け、これまで不正経理問題に係わる調査を実施し、また、再発防止の徹底について、庁内各部署に対し、指示・指導を行ってまいりました。

しかしながら、今議会に配布された監査報告の指摘において、昨年4月以降も

おおよそすべての県政運営及びその結果について、最終的に私に責任があること

阿部議員 これからもしっかりと、膿を出すような形で、不適正経理処理が二度と起こらないよう、取り組んでいただきたい。

小宮総務部長 私は、知事から指示を受け、これまで不正経理問題に係わる調査を実施し、また、再発防止の徹底について、庁内各部署に対し、指示・指導を行ってまいりました。

しかしながら、今議会に配布された監査報告の指摘において、昨年4月以降も

県民感情受け止め

阿部議員 これからもしっかりと、膿を出すような形で、不適正経理処理が二度と起こらないよう、取り組んでいただきたい。

小宮総務部長 私は、知事から指示を受け、これまで不正経理問題に係わる調査を実施し、また、再発防止の徹底について、庁内各部署に対し、指示・指導を行ってまいりました。

しかしながら、今議会に配布された監査報告の指摘において、昨年4月以降も

適切な経理処理が徹底されていないことについては、私自身、責任を痛感しております。私も具体的な責任を取るべきというご意見については、これを真摯に受けとめなければならぬものと考えております。県庁における管理部門の事務方の責任者として、給料の一部を返上させていただきます。

いずれにしても、私の職責として最も求められていることは、再発防止です。今後とも、なお一層、経理担当職員に対する実務研修の実施など再発防止に万全を尽くしてまいります。

執行部の監視をするのも議会の役目です。今回の件に関して、執行部を大変問い詰めたが、その原因の究明を求め、やってきたところで、

個人的な意見ですが、県民感情として、議員側も責任の一端を取るべきではないかと思えます。各会派で、代表者会議で、われわれ議会として、その監視機能、チェック機能を県民から付託されている議員として、責任の一端を取るべきではないかという意見を申し上げます。

稲毛区特集 2月県議会一般質問

市民の目線で県庁改革 あべこう一

いち 県議



再発防止に真摯な取り組み

積み重ねた十分な審議

不正経理調査特別委員会の会期延長について、私が会派を代表して討論をしましたので、以下ご報告申し上げます。

この特別委員会は、昨年9月定例会最終日の10月22日に、我々議員が県の行った調査結果の精査や再発防止策の検討を行うことを目的に議会の議決を経て設置され、約5カ月半、15回にわたって開催してきました。そして、委員会の開催に当たっては、調査すべき項目については、各委員、あ



の初日においては、特別委員会委員長から、特別委員会の審査の状況について、「概ね了」とする報告がありました。また、代表質問や一般質問、さらには予算委員会や決算委員会でも、不正経理問題について、質問や意見も多数あり、十分な審議もなされてきました。そして、執行部の答弁においても、今後、不正経理の発生原因を踏まえた再発防止策を徹底し、適正化に真摯に取り組んでいくとしています。また、21年度において不適正な経理処理があったとの監査報告ですが、県執行部においては、全庁の不適正に処理された伝票

処理を再度チェックし今年度の中ですべて適正な形に戻すよう指示したと聞いています。さらに、早急に経理担当者に対する実務研修等を実施し、適正な経理処理を徹底させたとのこと。また、森田知事の答弁においても、すべての県政の執行において、最終的な責任は知

事にあり、このようなことがないよう、しっかりと取り組んでいくこと、そして県職員と一丸となって県民の方々の福利向上と県政発展のため、粉骨砕身努力していきたいとの強い決意を述べられました。

残された課題の検証可能

私は、不正経理問題に係る主要な部分の検証はなし得ることができたと考えておりますが、残された課題例えば、警察本部における人事処分や公社等外郭団体の調査結果については、調査途中の委員長報告がありました。これは、今後に、関係する常任委員会や本会議の場において、確実にかつ十分に検証していくことが可能です。

そして、22年度以後、万が一、今回同様の悪質なかつ組織的な不正経理が明らかになった場合には、改めて直ちに特別委員会を設置し、より一層厳しく対応すべきであるというところは当然のことです。

あべこう一県議の質問項目

質問日：平成22年3月4日 午後

- 不正経理問題について
 - 予算流用手続きについて、改善するところは具体的にどのような点か。
 - 各所属で共通して使用する消耗品について、平成22年度に設置する集中調達機関で単価契約することだが、それで不適正経理はなくなるのか。
 - 各所属で発注担当者と検査担当者をどう区別しているのか。
 - 物品調達制度について、今後、少額随意契約すべてにオープンカウンターを導入するなど、さらに見直しをしていくべきと思うがどうか。
 - 平成21年度の監査結果報告を受けて、知事並びに総務部長ご自身の責任について、どのような対応をとるのか。
- 病院問題について
 - 地域医療連携パスについて
 - 病院の耐震化について
 - 災害時の医療体制について
- 教育問題について
 - 今後の魅力ある高校づくりについて
 - 県立高校再編計画の評価内容は。
 - 魅力ある高校づくり検討委員会を設置した目的は何か。
 - 24年度の高校再編はどうか。
 - 学校問題解決支援対策事業のねらいは何か。具体的な支援策はどうか。

山積する政策課題

そして、今日の厳しい日本経済において、千葉県経済の活性化はもとより、県内中小企業の振興育成や雇用問題、さらには重要な教育問題、県民の生命を守る

然ることであり、特別委員会に一定の区切りをつけて、今後の県の再生に向けて、我々議会としてもしっかりと執行部を監視、チェックしながら、再発防止策を徹底していくことが重要なことであると考えます。

医療や福祉問題、環境問題、財政再建等重要な政策課題が山積しており、待ったなしの状況であり、解決に向けてこれらの政策的な議論を本議会としてもしっかりと行っていかなければならないと考えます。以上、かいつまんで申し上げ、県政のご報告とさせていただきます。

阿部県議の質疑は県議会のホームページで

●県政や千葉市稲毛区のご相談、ご意見を聞かせてください

あべこう一 県議事務所
〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台2-6-8-401
TEL 043-287-8595
FAX 043-285-2192

阿部 検索 ホームページ <http://abe-koichi.com/>